

第 4 回 新得町地域公共交通活性化協議会議案

と き 平成 2 4 年 1 0 月 5 日 (金) 1 4 : 0 0 ~

と ころ 新得町役場 3 階 大会議室

会議次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 新委員の紹介 1

4 報告事項

報告第 1 号 コミュニティバス実証運行の概要について 2

5 議 題

議案第 1 号 新得町地域公共交通総合連携計画策定調査事業について
. 4

6 そ の 他

7 閉 会

新得町地域公共交通活性化協議会 委員名簿

	分野	所属団体名等	役職	氏名	備考
1	計画策定	新得町	副町長	田 中 透 嗣	
2	道路管理者	帯広開発建設部道路計画課	課長	竹 下 正 一	
3		十勝総合振興局帯広建設管理部鹿追出張所	所長	長 沢 誠	
4	公共交通事業者	北海道拓殖バス株式会社	営業課長	小 森 明 仁	
5		新得ハイヤー有限公司	社長	石 畑 政 俊	
6		株式会社新交通	代表取締役	吉 尾 正 一	
7		北海道旅客鉄道株式会社新得駅	駅長	鈴 木 敏 和	
8		北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	副議長	高 橋 敏 朗	
9	利用者代表	新得町商工会	会長	湯 浅 悟 史	
10		屈足商工振興協議会	会長	竹 浦 隆	
11		新得町観光協会	会長	若 原 敏 勝	
12		新得町PTA連合会	会長	乙 井 逸 人	
13		社会福祉法人 新得町社会福祉協議会	会長	古 川 盛	
14		新得町女性団体連絡協議会	会長	中 井 由 利 子	
15		新得市街地区連合町内会	会長	岩 谷 吉 彦	
16		屈足市街地区連合町内会	会長	藤 井 友 幸	
17		すこやかクラブ	会長	八 幡 文 雄	
18		報徳クラブ	会長	菅 野 益 二 郎	
19		株式会社福原 新得店	店長	社 内 充	新 委 員
20		株式会社福原 屈足店	店長	大 竹 誠	
21		けいら整形外科医院	総務課長	福 木 琢 也	
22		新得診療所		小 山 内 与 征	
23		サホロクリニック	事務長	若 林 尚	
24	運輸局	北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	藤 田 雅 博	
25	警察	新得警察署	交通課長	山 内 寛 人	
26	北海道	十勝総合振興局地域政策部地域政策課	課長	吉 田 健 二	
	事務局長	新得町地域戦略室	室長	佐 藤 博 行	
	事務局員	新得町地域戦略室地域戦略係	係長	加 賀 谷 敬	
			主事	長 岡 勇	
			主事	永 田 智 子	
			主事	石 上 陽 基	

報告第1号

コミュニティバス実証運行の概要について

1. 事業主体

新得町地域公共交通活性化協議会（業務委託先：北海道拓殖バス（株））

2. 運行期間

（1）平成24年10月15日（月）～11月3日（土） 毎日運行 20日間

3. 運行路線、時刻表

<資料1参照>

4. 使用車両

高齢者や車イスの方の利便性を考慮し、ノンステップのバスで、車イススペースのある車両。乗車定員33人（座席18、立席14、乗務員1）

5. 料金

無料とします。

6. 実証運行PRの日程

<PR済み>	9/25	町内施設見学会	15人
	9/25	高齢者交通安全の集い	約50人（なごみ）
	9/25	共同募金委員会会議	約30人（なごみ）
	9/26	衛生委員会議	7人（屈足支所会議室）
	9/27	町民芸能芸術祭実行委員会	35人（公民館中ホール）
	9/28	さわやかサロン	23人（靱山氏宅）
	10/1	新得音頭保存会	14人（屈足総合会館）
	10/2	ほほえみ倶楽部	25人（なごみ）
	10/2	きらくなきずなの家	13人（なごみ）
	10/2	屈足社交ダンス愛好会	9人（屈足総合会館）
	10/4	にこにこクラブ	29人（なごみ）
<PR予定>	10/8	報徳クラブ例会	約15人（屈足総合会館）
	10/10	寿教室	約90人（ふれあいホール）
	10/未	都市計画マスタープラン住民策定委員会	約20人

※その他、PR可能な会議等がある場合は、積極的にPRを行います。

7. その他

- (1) 運行路線、時刻表について、10月1日町広報紙「しんとくお知らせ号」に折込み、各家庭へ配布しました。
- (2) 実証運行の利用者に対し、ニーズ把握のためのアンケート調査を行います。
- (3) 2月の実証運行については、10月の実証運行結果を踏まえ、必要に応じて運行路線や時刻表等の見直しを行います。

議案第1号

新得町地域公共交通総合連携計画策定調査業務について

1 路線バス利用状況の把握

(1) 調査の目的

乗降人数だけでなく、バス利用実態（利用目的・利用階層）等を確実に把握するため、バス利用者へのアンケート調査を行う。

(2) 調査対象・調査時期

- ・拓殖バス新帯線のうち新得町内区間。および屈足線（通院線1便を含む）。
※上佐幌線は通学バスとして「3町内事業者等ヒアリング調査」で実態を把握する。
- ・平日1日 全便を対象に調査。
新帯線の上下8便、屈足線の上下4便、通院線1便（次頁時刻表参照）
- ・調査予定日 10/9（火）

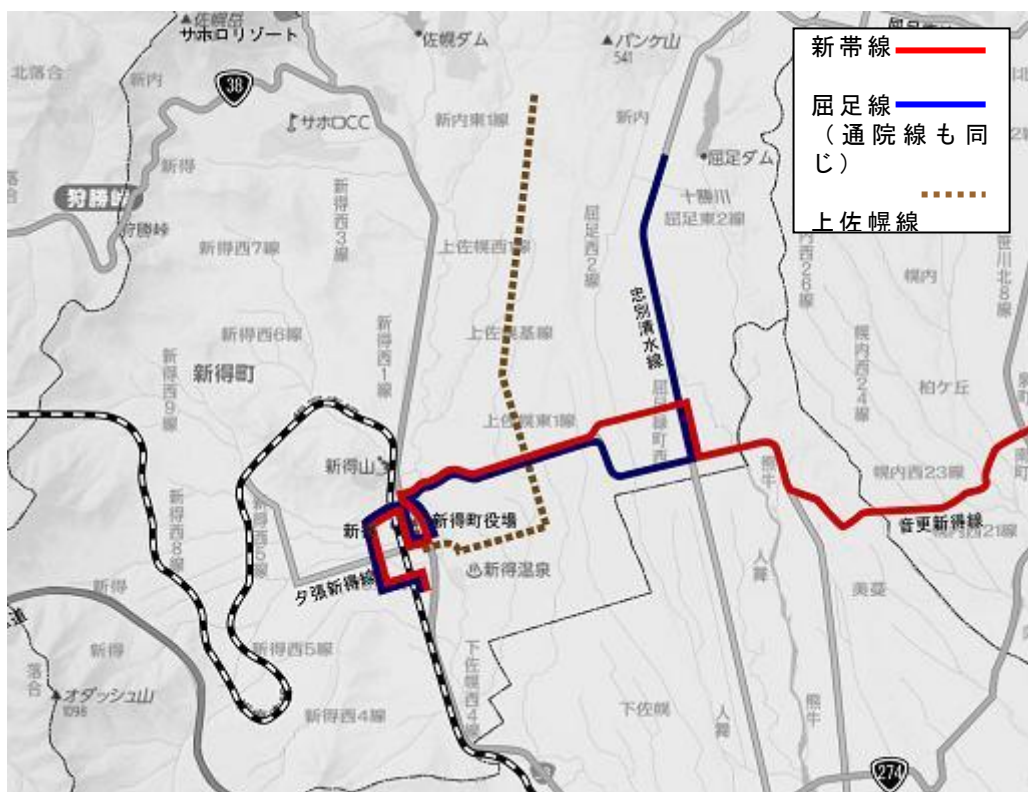


図 新得町内バス路線図

(3) 調査方法

- ・調査員がバス車内に乗車し、「バス停別の乗降客数」の把握と、町内で乗降する「乗客へのアンケート（聞き取り調査）」を実施。
- ・児童と屈足線の高校生はアンケート対象外とし、「バス停別の乗降客数」のみカウントする。
- ・バス利用者や事業者の大きな負担とならないよう配慮する。

(4) 調査項目

【乗降数把握項目】

- ・方向別便別バス停乗降客数
- ・児童、生徒、一般の3区分で客数を把握。

【乗客への質問項目】 ※は調査員が目視判断

- ・属性 (年齢、性別※、免許の有無)
- ・バス利用実態 (利用目的、乗車バス停※、降車するバス停、行き先)
- ・要望・課題 (現行路線への要望・課題など)

表 路線バス時刻表

	新帯線	新帯線	新帯線	通院線	新帯線	屈足線	屈足線	上佐幌線	
		平日のみ	平日のみ	火・金のみ		登校日のみ	登校日のみ	登校日のみ	登校日のみ
南新得	7:30	8:50	11:20	12:35	14:10	15:55	17:20	新得駅	16:40
新得駅前	7:40	9:00	11:30	12:45	14:20	16:05	17:30	佐幌6号	16:58
佐幌6号	7:48	9:08	11:38	12:53	14:28	16:13	17:38	旧上佐幌小	17:05
屈足22号	7:53	9:13	11:43	↓	14:33	↓	↓	上佐幌20号	17:10
幸町4丁目	7:55	9:15	11:45	12:57	14:35	16:18	17:43		
屈足22号	↓	↓	↓	13:00	↓	16:21	17:46		
くったり温泉	↓	↓	↓		↓	16:31	17:56		
鹿追営業所	8:10	9:30	12:00		14:50				
帯広駅前	9:10	10:30	13:00		15:50				

	屈足線	新帯線	新帯線	新帯線	屈足線	新帯線	上佐幌線	
	登校日のみ	平日のみ	平日のみ	平日のみ	登校日のみ		登校日のみ	登校日のみ
帯広駅前		7:15	9:30	13:00		15:45	上佐幌20号	7:15
鹿追営業所		8:22	10:30	14:00		16:45	旧上佐幌小	7:20
くったり温泉	7:37	↓	↓	↓	16:35	↓	佐幌6号	7:36
屈足22号	7:47	↓	↓	↓	16:45	↓	新得駅	7:48
幸町4丁目	7:50	8:36	10:44	14:14	16:48	17:04		
屈足22号	↓	8:39	10:47	14:17	↓	17:07		
佐幌6号	7:58	8:45	10:53	14:23	16:56	17:13		
新得駅前	8:05	8:52	11:00	14:30	17:03	17:20		
南新得	8:13	9:00	11:08	14:38	17:11	17:28		

2 住民アンケート調査

(1) 調査の目的

バスだけではなく、自家用車やタクシー等による移動も含めた「現状の町民の移動実態」を調査することにより広義の公共交通に対する潜在的ニーズ（利用可能性）や、コミュニティバスなどの「新たな交通サービス」に対する意向や課題を把握する。

(2) 調査対象・調査時期・調査方法

- ・全世帯を対象に調査票を配布し、郵送による配布・回収とする。
- ・10月下旬に調査票を配布。
- ・コミュニティバス実証運行期間（10/15～11/3）中に回答。
- ・回収期限11月上旬。

(3) 調査項目

- | | |
|-----------|---|
| ◇属性 | （年齢・性別、職業、居住地、免許の有無など） |
| ◇外出移動実態 | （移動目的別の行き先、交通手段、頻度など） |
| ◇公共交通利用実態 | （利用頻度、目的、行き先、現行路線の評価など） |
| ◇自動車利用実態 | （自動車利用の有無、将来の運転継続など） |
| ◇公共交通への評価 | （現サービスの評価、問題点など） |
| ◇要望・課題 | （現行路線への要望・課題、将来的な利用意向、「コミュニティバス」など新たな交通サービスに対する意向 など） |

※別紙資料2を参照

3 町内事業者等へのヒアリング調査

(1) 調査の目的

広義の公共交通を対象に、事業者の立場から見た公共交通の『顕在需要（すでに公共交通を利用している利用者）』と『潜在需要（公共交通を利用する可能性）』を把握するとともに、公共交通の現状の問題点と改善策について議論を行うことで、実現性の高い「公共交通施策」と「新たな交通サービス」を提案するための材料とする。

(2) 調査時期・調査方法

- ・10月実施予定。
- ・訪問面談。

(3) 調査対象・調査項目

対象	ヒアリング項目（案）
交通事業者 （バス・タクシー事業者）	◇現状交通サービスの運行状況と町民利用状況 ◇利便性向上に向け実施中あるいは検討中の取り組み ◇「公共交通改善策」のアイデア（フリーディスカッション） ◇「新たな公共交通サービス」の運行主体としての可能性と条件
病院・ホテル ・商業施設	◇施設利用者（客・従業員・施設利用者）の交通状況 ◇現状の公共交通サービスの問題点 ◇来客利便向上に向け実施中あるいは検討中の取り組み ◇「公共交通改善策」のアイデア（フリーディスカッション） ◇「新たな公共交通サービス」の協賛者としての可能性と条件
学校・教育委員会	◇児童・生徒の通学状況 ◇スクールバスの運行状況・利用状況・費用・問題点など ◇現状の公共交通サービスの問題点 ◇「公共交通改善策」のアイデア（フリーディスカッション）

4 実証運行調査

(1) 調査の目的

コミュニティバス運行時の利用状況を把握すると共に、今後の利用可能性などを把握することで、公共交通運行計画（案）の検討資料とする。

(2) 調査時期・調査対象

- ・10月、2月の実験期間中に1回ずつ実施。
- ・平日・休日それぞれ1日の全便を対象に調査。
- ・10月の調査実施日は10/28（日）10/29（月）を予定。
- ・2月の調査実施日は2/15（金）2/16（土）を予定。

(3) 調査方法

- ・調査員がバス車内に乗車し、「バス停別の乗降客数」の把握と、乗降する「乗客へのアンケート（聞き取り調査）」を実施。
- ・児童・生徒はアンケート対象外とし、学校への聞き取りで補完。
- ・バス利用者や事業者の大きな負担とならないよう配慮する。

(4) 調査項目

【乗降数把握項目】 注：「路線バス利用状況の把握」と比較分析するため同じ項目で把握。

- ・方向別便別バス停乗降客数
- ・児童、生徒、一般の3区分で客数を把握。

【乗客への質問項目】 ※は調査員が目視判断

- ・属性 (年齢、性別※、免許の有無)
- ・バス利用実態 (利用目的、乗車バス停※、降車するバス停、行き先)
- ・要望・課題 (コミュニティバスへの要望・課題、本格運行時や有料運行での利用可能性など)